

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サニーフィールド平島				公表日	2026年2月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		活動内容に応じてスペースを分けて活用している。クールダウンのフリースペースもあり1人で落ち着くことができるようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		基準以上の配置をしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		日々のスケジュールを見える化しており、子どもたちが確認できるようにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		週清掃をはじめ毎日必ず掃除、整理整頓を行い環境に配慮した事業所運営をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		クールダウンができる小部屋を設置している。また、楽器やプラモデルができる部屋も設置している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員会議と都度ミーティングを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に一度アンケートを行い、頂いたご意見から職員間で話し合いを行い業務改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		業務を見える化しており、都度ミーティングを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		内外の研修に参加し資質向上に努めている。		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		児童のアセスメントや児童の特性等踏まえ、職員間での支援の在り方も含めながら、作成、検討している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		管理者、セラピスト、児童指導員等事業所在籍者全員で意見を出し合いまとめたものを計画に反映している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		管理者、セラピスト、児童指導員等事業所在籍者全員で意見を出し合い共通理解をしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		児童ごとの計画に基づいたスケジュール・課題の提供を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		各領域ごとのアセスメントを踏まえながら、児童の適応行動の状況や日々の行動観察面での特性を確認し合っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画書において各ジャンルごとに分けて課題を作成し、その内容に応じた支援内容を決定し行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		月で予定を立てチームで具体化、職員間で共有している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		各職員でプログラムを出し合い、固定化しないように進めている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		児童の状況や特性等踏まえながら、個別活動や集団活動を適宜組み合わせながら、計画を作成し、支援を提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼を毎日行い、注意点や配慮事項、プログラムについて確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日終礼を行い、振り返り、気付きを職員間で情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援経過記録を毎日記入しており、支援の改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年ごとに保護者、相談員を含めた会議等を行い見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		4つの基本活動を念頭に置きながら、事業所内の職員間（多職種）で連携しながら、支援の展開を図っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		選ぶ時に制限を設け、自己決定力を高めるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		事業所の管理者や児童発達支援管理責任者、セラピストなど児童の状況や様子をよく理解している職員を参画するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関との連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校へのお迎え時は先生と情報交換・情報共有に努め、トラブル時には迅速に対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者の同意を得た場合は極力情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行先への支援内容等の情報提供や共有を心がけている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		業務に支障がない範囲でなるべく研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		イベント等を行う時、地域の子どもたちや近隣の住民の方に参加していただけるようにしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		子ども支援部会・強化教育事業になるべく参加している。	様々な職種のスタッフが参加できる様していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時・連絡帳・電話・SNS・面談で情報共有を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		気軽に相談できる雰囲気作りを努めていきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時丁寧な説明を心掛けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者の方と相談員の方を含めた会議を行い意向を確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者の方へ計画案を踏まえて、会議をし同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡窓口を設けていつでも頼れる環境を整備している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		必要性を考えながら対応致します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合、職員間ですぐに共有し、事案に対して対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		LINEを活用し活動内容を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きロッカーで管理しており、知った情報の内容に関して事業所外に漏らさないよう周知している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		意思疎通の難しい児童へは個別のスケジュールを提示したり、PECSを活用しながら筆談等でやりとりしたりしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		年に2回のお祭りや、ハロウィンイベント等に案内をお配りしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し、職員が閲覧できるようにしている。また、避難訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年2回実施し消防署に届出している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		子どもたちの来所前に必ず、職員同士で確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのある児童の把握、対応について保護者に確認し、職員間でも共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理に必要な研修、送迎における適切な運転操作などの研修の機会をもち、事故に対する危険認識を高められるよう職員に周知している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		写真等でご家族の方に避難訓練の様子をお伝え出来るようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		共有・閲覧できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		委員会、研修を行い、共有している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		委員会、研修を行い、共有している。		